

平取町 2025 年度公開研究会（2025 年 10 月 10 日）

## 「沙流川の水、森そして空：二風谷の歴史文化景観の再発見」

於 沙流川歴史館レクチャーホール

天文民俗学セッション

「沙流川流域に残る天文的景観のことば ―日食を中心に」

天文民俗班 今野 利秋（アジアの星物語プロジェクト）

### 1. はじめに

現代の私たちは、様々な情報媒体を通じて日食があることを“知る”ことができますし、未来の日食まで“予測”が可能です。天文マニアには日食病という言葉があるくらいに、世界各地に日食を見に行き、“備える”人がいます。日食という天文現象が作り出す天文的景観との出会いは、神秘的なものです。そういった人を除く、日食であることを“知らない”で“備えていない”、あるいは“予測していない”多くの人にとっては、ほぼ全て欠けない限り、太陽が欠けていることに気づく、認知する場合は少ないといえます。仮に急に太陽がすべて欠けた天文的景観が目の前に急に広がったとしても、たいていの人は日食という天文現象が起こっていると理解することでしょう。

一方、日食という知識そのものが普及していなかった時代、起こることを“知らず”備えず“予測していなかった”人々にとって、太陽が完全に月に隠されて異様な天文的景観が周囲に広がることは天変地異でした。日々の生活に欠かせない太陽がもしかすると、このまま元に戻らないかもしれないと考えると、かなり恐ろしいことだったでしょう。そうした恐ろしい体験の衝撃が大きいほど、天文的景観の体験と記憶は、言葉や言い伝えなどとして語り継がれていくことにつながると考えられます。天文的景観への衝撃がかなり大きければ、それだけで言い伝えが残る可能性はあります。ただ、衝撃がいくら大きかったとしても、頻度がかなり少ない場合、記憶や言い伝えは失われていく場合もある（あった）ことでしょう。となると、衝撃度に加えて、頻度も重要になってくると考えられます。天文現象の頻度がある程度多くなるほど、日食という現象が起こることを“知る”ようになり、言い伝えが語り継がれる確率は高くなっていくのではないのでしょうか。また、日食という現象を表す言葉も生まれて、広く共有されていくのではないかと推測されます。

もちろん、衝撃度の高い日食があったからと言って、日食の言葉や言い伝えがこの地で生まれたとは限りません。他の土地ですでに形成されていた文化が持ち込まれたり、接触をした他の文化からもたらされたり、ということも考えられるからです。本日は、上記のようなことを私がふと疑問に思ったこともあり、過去に沙流川の空に広がった天文的景観を振り返ってみたいと思います。

## 2. 日食にまつわる言葉や言い伝え

日食を表す言葉や、まつわる伝承は世界各地の様々な文化で見られます。今回の研究会の開催場所である平取町二風谷にちなみ、沙流川流域の日食（月食も）に関するアイヌ民族の言葉や言い伝えなどを、辞典等から引用してまとめたものです。

### 1) 『萱野茂のアイヌ語辞典 増補版』 萱野茂

- ・クンネチュプライ 【kunne-cup-ray】 月食
- ・チュプアルキ 【cup a=ruki】 日食、月食。  
▷チュプ= 日、月    ア・ルキ=呑まれる→だんだん消えていくこと
- ・チュプライ 【cup ray】 日食、月食：皆既食  
▷チュプ= 日、月    ライ= 死ぬ
- ・トカプチュプ アルキ 【tokap-cup a=ruki】 日食  
▷トカプチュプ=太陽    ア・ルキ=呑まれる
- ・トカプチュプ ライ 【tokap-cup ray】 日食：皆既食  
▷トカプチュプ=太陽    ライ=死ぬ
- ・ヤイヌパ 【yay-nupa】 生き返る：意識が戻る  
チュプ ライ コロ ノヤ アニ イナウ アニ チュプカムイ コワツカケ パ  
コロ "チュプカムイ ヤイヌパ ヤイヌパ" セコロ カネ ハウエオカ プ ネ  
ヤク ア・イエ=太陽が死ぬ（日食）とヨモギとかイナウとかで太陽に水をかけながら、  
「太陽の神生き返って生き返って」と言ったものだそうだ。

### 2) 『アイヌ語沙流言辞典』 田村すず子

- ・cup a=ruki チュプ アルキ 月/日が飲み込まれる= 月蝕/日蝕でだんだん消えていく
- ・cup ray チュプ ライ [月/日が・死ぬ] 月蝕/日蝕になる(皆既日食の場合)
- ・(kunne) cup a=ruki (クンネ)チュプ アルキ (直訳すると)月 が飲み込まれる=月食になる(消えて行く)。
- ・(kunne) cup ray (クンネ) チュプ ライ (直訳すると)月が死ぬ=月食になる(皆既食)
- ・(tokap) cup a=ruki (トカプ)チュプ アルキ 日蝕になる(だんだん消えていく)
- ・(tokap) cup ray (トカプ) チュプ ライ 日蝕になる(皆既蝕)。

### 3) 『昭和62年度 アイヌ民俗文化財調査報告書』 p63

お日さん、お月さんが隠れる（日蝕、月蝕）と、ほうき草(ムンヌイエプキナ munnuyepkina)で作ったほうきを持って、樽に入った水にほうきを浸し、

チュプカムイ エライ ナ ヤイテム カ ウォーイ ウォーイ  
cup kamuy e ray na, yaytemka woy woy

「日の神、月の神、死ぬぞ、生き返れ」と叫んで天に向かって水をかける。心臓を冷やして生き返ってくれという訳で、皆で大騒ぎしてやったものだ。きれいな水をかけないといけないものだ。 ※今野注：荷負本村・西島てる氏 1896年生まれ

### 3. 過去 1000 年に平取で見られた欠け率の大きな日食

1. はじめに、で書いた観点から、平取町で過去 1000 年におこった日食を調べ、その中でも、ほぼ 100 ペーセント近く欠けた皆既日食、金環日食、つまり人々にとって衝撃の度合いのレベルが高かったと思われる日食の事例を一覧としたものです。あくまでの衝撃度が大きいと考えられるものを抜き出したものであり、過去 1000 年に起こった日食のすべてを上げているわけではないことにご注意ください。詳しい数は承知していませんが、欠け率の低い部分日食、金環日食、皆既日食のすべての日食を数え上げると、かなりの数になる感じがします。

※参考としたのは、国立天文台の日月食等データベースです。

<https://eco.mtk.nao.ac.jp/cgi-bin/koyomi/eclipsedb.cgi>

年代や場所を指定すると、どのような日食や月食が起こったのか調べることができます。

将来の日食を調べる場合は、日食各地予報をご覧ください。

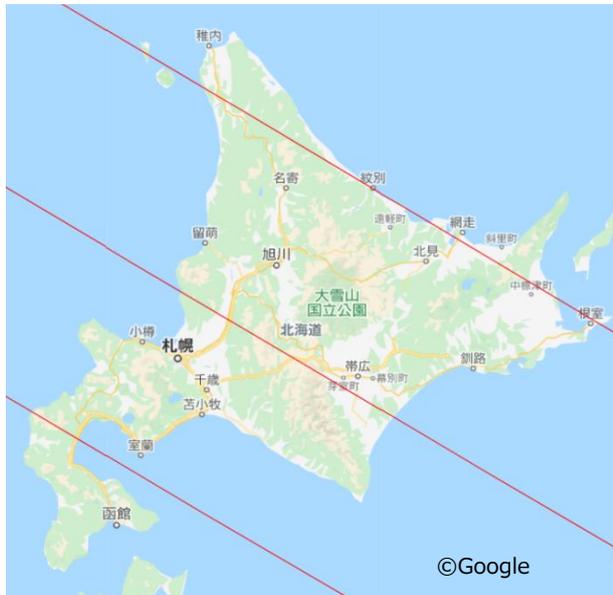
[https://eco.mtk.nao.ac.jp/cgi-bin/koyomi/eclipse\\_s.cgi](https://eco.mtk.nao.ac.jp/cgi-bin/koyomi/eclipse_s.cgi)

年月日 (西暦)	日食の種類	食の開始	中心食の開始	食の最大	中心食の終了	食の終了	最大食分	面積比
1003年8月1日	金環皆既	日の出前		4:49		5:50	0.996	0.993
1066/09/22	金環	14:03		15:19		16:28	0.942	0.923
1073/05/10	金環	6:09	7:17:19	7:18:17	7:19:15	8:34	0.974	0.936
1075/09/13	金環	10:25		11:52		13:17	0.961	0.944
1129/10/15	金環	9:37	11:03:46	11:05:26	11:07:06	12:36	0.981	0.929
1160/09/02	皆既	11:40	12:58:12	13:00:07	13:02:02	14:14	1.024	1.000
1223/09/26	皆既	11:30		12:44		13:57	0.976	0.979
1252/03/12	金環	5:57		7:05		8:20	0.944	0.916
1315/05/04	金環	16:19		17:27		18:28	0.947	0.924
1367/12/22	皆既	8:39		9:55		11:16	0.993	0.995
1397/05/27	皆既	6:43		7:46		8:56	0.970	0.973
1413/02/01	皆既	13:57		15:05		16:08	0.967	0.967
1442/07/08	皆既	4:38	5:30:35	5:31:48	5:33:01	6:29	1.012	1.000
1445/05/07	金環	11:38		13:17		14:50	0.955	0.916
1521/04/07	皆既	15:57	16:57:33	16:59:03	17:00:32	17:55	1.021	1.000
1526/01/13	金環	7:40		8:56		10:19	0.944	0.928
1587/10/02	皆既	13:02	14:17:36	14:18:12	14:18:47	15:27	1.002	1.000
1636/08/01	皆既	10:19		11:44		13:06	0.948	0.942
1742/06/03	皆既	7:57		9:06		10:20	0.987	0.992
1824/06/27	皆既	6:28		7:32		8:44	0.997	0.999
1872/06/06	金環	11:19		13:01		14:37	0.950	0.913
1896/08/09	皆既	13:27		14:39		15:45	23:31	0.982
1936/06/19	皆既	14:10		15:23		16:29	0.960	0.956
1943/02/05	皆既	6:43		7:49		9:00	0.996	0.998
1963/07/21	皆既	日の出前		4:13		5:08	0.997	0.998

#### 4. 2030年の金環日食

みなさんも、日食という天文景観を見ることができます。それが、2030年6月1日の金環日食です。皆既日食のように太陽が完全に隠されるわけではありませんが、リング状になった太陽の姿を、およそ4分間楽しむことができます。地図に描かれた三本の線のうち、両端の線の内側でかなり広いエリアで見られます。中央の線に近いほど、リングの形がきれいに見えます。

観測する際は、安全な日食眼鏡をかけてください。裸眼で見ると、失明に至る恐れがあるからです。粗悪品も出回ることが予想されるので、不明なことは、科学館や天文台などに照会するのが良いでしょう。日食が近づくと、多くの情報が発信されていくと思います。



2030年6月1日(土)

ニ風谷

15時42分 欠け始め

16時55分 中心食の始まり

16時57分 食の最大

16時59分 中心食の終わり

18時04分 欠け終わり

#### 5. 最後に

自分がこうして、アイヌ民族の方々の日食について知ることができるのは、文献等が残されているからです。先人の皆様の知見と業績に敬意を表するとともに、引用させていただいたことに感謝の意を表します。

#### ◇参考文献

『萱野茂のアイヌ語辞典 増補版』萱野茂、三省堂、2002年10月

『アイヌ語沙流言辞典』田村すず子、草風館、1996年8月

『アイヌ語方言辞典』服部四郎編、岩波書店、1964年8月

『昭和62年度 アイヌ民俗文化財調査報告書(アイヌ民俗調査Ⅶ 沙流・十勝地方)』  
北海道教育庁社会教育部文化課 1987年3月

『アイヌの星』末岡外美夫、旭川市立図書館編、旭川振興公社、1979年10月

『人間達のみた星座と伝承』末岡外美夫、末岡由喜江、2009年1月